

各団代表者 各位

一般社団法人神戸市サッカー協会  
 会長 益子 和久  
 4種委員長 御手洗 修  
 担当 宮本 雄介

### 第48回 神戸兵庫シティライオンズクラブ杯U-12大会 大会要項

1. 主催 一般社団法人 神戸市サッカー協会
2. 共催 神戸兵庫シティライオンズクラブ
3. 主管 一般社団法人 神戸市サッカー協会 4種委員会
4. 日程 2026年4月11日(土)、19日(日)、26日(日)、29日(水祝)
5. 会場 神戸フットボールパーク岩岡およびしあわせの村運動広場(状況により日程および会場の追加・変更あり)
6. 開会式
  - 日程: 2026年4月11日(土) 13:00頃(予定)
  - 場所: 神戸フットボールパーク岩岡
  - 開会式参加チーム: 試合日程により決定 プラカードを持参すること
  - 選手宣誓: 抽選番号9番のチームより、代表選手1名による選手宣誓を行う
7. 県大会出場資格、他
  - ① 本大会の成績上位5チーム<sup>(注1)</sup>に『第4回 DAICEL CUP 第59回兵庫県U-12サッカー選手権大会』の参加資格を与える ただし、4種委員長が神戸市を代表するに値すると認めたチームを対象とする
8. 表彰
 

(注1) 県大会出場枠は昨年度の実績に基づき5チームを予定するが、最終確定は3月(予定)の兵庫県4種委員長会議で行われ、その内容によっては、順位決定戦が変更される場合がある

  - ① 1位~3位に神戸市サッカー協会および神戸兵庫シティライオンズクラブより表彰状を授与する
  - ② 優勝に神戸兵庫シティライオンズクラブより優勝カップ(持ち回り)・トロフィー・メダルを授与する
  - ③ 準優勝に神戸兵庫シティライオンズクラブよりトロフィー・メダルを授与する
  - ④ 3位に神戸兵庫シティライオンズクラブよりトロフィーを授与する
9. 参加資格
  - ① 公益財団法人 日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体およびその団体に所属する選手であること
  - ② 公益財団法人 日本サッカー協会の発行する登録選手証へ写真添付し、試合開始前に提示できること
  - ③ 20歳以上の指導者が試合に同行し、要請された人数の審判員を派遣できること
  - ④ 選手は必ず、スポーツ傷害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること
  - ⑤ 各団1チームのみの参加が可能である
10. 参加申込み ※詳細は、別添の申込み手順書(PDF)をご確認ください。
  - WEB フォームから申込み 締切: 3月3日(火)
  - 参加費 5,000円/チームを指定口座に振込 締切: 3月6日(金)
  - 『選手指導者登録票』『ユニフォーム確認票』を送付 締切: 4月7日(火)
11. 組合せ抽選会
 

4種委員会にて委員長、副委員長、各委員の立ち合いのもと、各地区長による抽選にてトーナメント枠を決定する

  - 日程: 2026年3月10日(火) 20:30ごろ~
  - 場所: 磯上・協会会議室
  - 抽選順は参加申込み順とする
  - 春季ライオンズクラブ杯ベスト4のチーム、および、2026年県トップリーグ参加の合計8チームをシードとし、本大会ベスト16からの参加とする

対象は、V神戸、センアーノ、ヨークン、なぎさ、BASARA、神戸FC、フレスカと小部キッズ

## 12. 競技規則

公益財団法人 日本サッカー協会 8人制競技規則に準ずる

JFA サイト <https://www.jfa.jp/documents/pdf/eight/rules.pdf>

### 【フィールド/ボール】

- 1) フィールド: タッチライン 68m x ゴールライン 50m
- 2) ゴール: 少年用 高215cm x 幅500cm (内法)
- 3) ボール: 4号ボール

### 【競技者】

- 4) 本大会登録競技者は試合開始前までに、大会本部にて選手登録証およびユニフォームの確認を受けることで出場が可能となる
- 5) 8名の競技者が試合に出場する。なお、一方のチームが7名に満たない場合は、試合の開始と続行を認めない。7名に満たないチームは敗戦したものとみなし、得点は0対3とする
- 6) 試合に出場できる人数は16名以内とし、ベンチには最大8名の交代要員が入ることができる
- 7) 競技者の交代
  - a. フィールドプレーヤーの交代は、主審の承認を得る必要はない
  - b. フィールドプレーヤーの交代は、ベンチ側の交代ゾーン(3m+3m)より入退する
  - c. ゴールプレーヤーの交代は、アウトオブプレー時に主審の許可を得て行う

### 【指導者】

- 8) ベンチ入りできる指導者は1名以上3名以内とする
- 9) テクニカルエリア内で試合中に戦術的な指示ができる指導者は1名に限る また、他のベンチ入り指導者はベンチエリア内で着席とする

### 【試合】

- 10) 試合時間は、20分-5分-20分とする
- 11) 同点の場合は、PK方式により勝敗を決定する(3名ずつ行って、その後はサドンデス)  
※決勝戦のみ 5分-5分の延長戦を行い、尚、決しない場合はPK方式により優勝チームを決定する
- 12) 県大会抽選枠順の決定のため、第3代表決定戦及び第5代表決定戦を行う<sup>(注1)</sup>

### 【ユニフォーム】

- 13) メイン・サブ 2組を用意すること(フィールドプレーヤー・ゴールプレーヤー用共)
- 14) サブは、シャツ・パンツ・ストッキング、いずれもメインと明瞭に区別された異色のものにする
- 15) 長袖アンダーシャツ・アンダータイツは、チームで統一された色であれば着用できる
- 16) 試合で着用する互いのユニフォームは、大会本部及び審判団により決定する チーム責任者は試合に際し、着用ユニフォームを大会本部に確認すること
- 17) ゴールプレーヤーが前半後半の途中でフィールドプレーヤーと交代する場合、シャツのみの変更でも出場できる
- 18) ゴールプレーヤーは、前後半キックオフ時、ゴールプレーヤー用のシャツ・パンツ・ストッキングを着用し出場すること
- 19) 提出したユニフォーム確認表に記載されたユニフォーム(メイン・サブ共)を必ず、大会当日に携行すること
- 20) 試合開始後に大会本部あるいは審判団の指定したユニフォームを着用していない事実が確認された場合は没収試合とする

### 【背番号】

- 21) フィールドプレーヤー: 今大会を通して同じ背番号を使用すること
- 22) ゴールプレーヤー: エントリー票に記載のない背番号の付いたゴールプレーヤー用ユニフォームを着用して出場できる

### 【暑さ対策】

- 23) 大会当日の天候状況により、主審の判断と指示で前後半の各中間時に、1分間以内の給水タイム、3分間のク

ーリングブレイクを取る。これに費やした時間は試合時間に含めない

- 24) 試合開始または後半開始時にWGBT値が25℃以上の場合は給水タイム、28℃以上の場合はクーリングブレイク、31℃以上の場合は試合中止(延期)とする

#### 【本大会での警告・退場】

- 25) 試合中に退場処分を受けた競技者は、自動的に次の試合の出場を停止する 退場の競技者が出た場合、次の1試合の出場を停止する
- 26) 本大会期間中に異なる試合で警告を2回受けた競技者は、次の1試合の出場を停止する
- 27) 生じた退場・警告は、本大会のみ有効とする(他大会へ累積持ち越しはしない)

#### 【審判】

- 28) 試合は、1人の主審と2人の副審で運営される
- 29) 当該年度の審判資格(4級以上)を有していること ※ユース審判員を可とする
- 30) 審判証(写真添付)を持参し、担当試合前に審判本部で提示し、団名および氏名の連絡を行うこと
- 31) 正規の審判服を正しく着用すること ※KFP岩岡の副審はスパイク不可とする(芝の保護のため)
- 32) 試合開始時に、ベンチ前にて競技者全員の用具の確認を行うこと
- 33) 審判員の派遣は、経験と実績のある者を人選すること
- 34) 審判員を派遣できなかった場合(審判証忘れを含む)、当該団にペナルティが課される
- 35) 審判研修会を兼ねており、協会から派遣されるインストラクターのフィードバックが与えられる

#### 【その他】

- 36) 雨天決行  
但し、天災等(開催地での気象など)で開催が危ぶまれる場合は、大会本部で協議し決定する
- 37) 危機事象(落雷等)により大会本部及び審判団の判断で試合が中断された場合、中断後を行うことが原則であるが、施設、安全管理、日程等で再試合あるいは中断後の試合が不可能な場合は、大会本部において試合を成立させること、または抽選等によって勝者(次回戦へ進むチーム)を決定することがある
- 38) 電子通信機器に付帯しているものによるものも含めてテクニカルエリア内(ベンチを含む)においては、いかなる撮影(写真、ビデオ)も認められない

#### 13. 規律・フェアプレー

- ① 大会参加選手及び指導者は、競技規定を遵守し、JFAサッカー行動規範に則り大会に臨むこと
- ② 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対してもリスペクトの態度と精神で臨むこと
- ③ 応援者(含、保護者)は、少年少女スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること

#### 14. 疾病予防

- ① 選手・指導者は、身体に異常を感じた場合には、参加出場することのないようにすること
- ② 主催者側では選手等の負傷時に一切の責を負わない 初期救急対応は各チームが責任を持って行う 各チームにて救急箱などを用意し、準備しておくこと

#### 15. その他

- ① 全会場において、全ての車に駐車証を掲示する 会場近隣の路上駐停車禁止する ゴミの持ち帰りをすることを各団の責任で徹底すること
- ② 大会運営上の問題を起こした場合には、大会本部または4種委員会に諮り、所属団に対し厳しい処分が課される
- ③ 選手等の大会本部への挨拶はご遠慮ください(大会運営の妨げとなる場合があるため)